

れいわがんねんど あおもりししやう しやじりつしえんきやうぎかい  
 令和元年度 青森市 障がい者自立支援協議会  
 しゅうろうしえん ぶかいきやうぎなどけいかほうこくしよ  
 【就労支援】部会協議等経過報告書

<p>にちじ ばしよ 日時・場所</p>	<p>れいわがんねん がつ にち か 令和元年6月25日(火) 10:00-11:30 あおもりしやくしよえきまえちやうしや かいかいぎしつ 青森市役所駅前庁舎 1階会議室</p>
<p>さん か しや 参加者</p>	<p>【協議会委員】          (部会所属委員) 長谷川委員・蠣崎委員・今村委員・岡田委員          【就労移行支援事業所】          障害者就労移行支援事業所「勇氣」 太田氏・高谷氏          就労移行支援のれそれ 齋藤氏          アクセスジョブ青森 小野氏・駒井氏          【事務局】障がい者支援課 2名</p>
<p>けん う じ こう 検討事項</p>	<p>① 昨年度開催した「相談会」の振り返り          ② 今年度の「相談会」の開催について          ③ 今年度の部会運営について</p>
<p>いけん がいよう 意見の概要</p>	<p>・(経緯)市が策定する第5期計画に沿い就労支援体制上の地域課題を解消すること、ハローワークが主催する集団面接会参加者のうち不調の方を福祉サービスにつなげることを意図して企画・開催したもの。          ・セミナー参加者のうち、各事業所で数名が見学や体験、利用にそれぞれつながっている。就労移行支援事業所の周知という点ではよかったのでは。          ・対象層について。ハローワーク経由の対象者(面接会不調者)＝福祉サービス希望者とは限らないのでは？今回の参加状況(面接会不調者が実際にどの位参加していたか等)を分析・検証し、次回の周知範囲や方法の検討が重要。さらに、イベントの目的をどこにおくか整理をした方がよい。          ・準備期間が短く、関係者で十分協議する機会も少なかった。          ・移行支援事業所の利用者確保とは分けて考えるべき(事業所がやること・部会でやること)→青森地区障害者就労移行支援事業所連絡会(任意団体)が新設されたことで、同連絡会の活動状況を把握しつつ地域課題の解決に向けて部会を進める。</p>
<p>き 決まったこと</p>	<p>今年度は、就労支援ガイドブックの作成を中心に協議する。</p>
<p>そ の た 他</p>	<p>・ハローワーク青森より(委員欠席のため伝言): イベント実施の場合、当該機関での場所の提供は難しい。共催は所長あて承諾の文書必要。</p>
<p>さく せい しや 作成者</p>	<p>あおもりしやうがいしやくぎやう おかだ 青森障害者職業センター 岡田</p>

